

5月になりました。

連休です。ゴールデンウィークです。

4月の昭和の日？からドーンと大盤振る舞いの方は
9日間お休みになりますね。皆さんいかがお過ごしでしょうか
このお休みという意味には



「日常で何かをしている方に対して」 仕事・家事・学校など色々ありますけど……

「それをやらずにいて良い。好きにしていいますよ！」という意味が含まれていると思います。

「お休み」という言い方にはやるべき事、やらなければならない事がある人に与えられた権利。

そんな一部に対するメッセージやニュアンスが含まれている感じがしませんか？

では…やるべきことがなくなったら…「お休み」にはどう対処したらいいのでしょうか？

定年後の人生相談よく受けます。

それらの方はやることがない自分に対して、焦りや社会からの拒絶感、罪悪感を

果ては自身の生き方まで持つような方がよく見受けられます。そうするとサー大変！

…そんな事をしっかり考えてはじめて、悩んでたら、とつても「休んで」なんかいられないのです。

これは日本人の特性「勤勉性」「社会性」によるもの言う説があります。

でも、ただそれだけでしょか？

意地悪な見方をすると「それまでが主体的選択による日常生活や人生を過ごしていない」

「何かの力で決められ、与えられた日々を過ごしてきた。だけだった？」とも考えられませんか？

本来、自由主義国家の日本は強制労働も徴兵制度もないので、細かい法律条例などに違反しない限り…国民としての最低限の責任を果たしていれば、毎日が日曜日でもいいのです

でも実際には責務を果たし、社会性を保持し、経済システムに組み込まれた生活を強いられたら、休んでばかりはいられません。様々な課題の解決に必要とされる学びの時間や収入を得る期間が必要となり、結果的には、社会から半ば強制的に「するべき事を与えられて、日々を過ごさざる負えない」様になっています。日本人の大半はそんな社会に強くあがらう事もなく、「休まず、止まらず、振り返らず」とても真摯に、与えられた時間を誠実に全うします。

ウン大変素晴らしい！

しかしその結果主体的な生き方の選択が苦手な束縛されない自由と時間を持って余す様になっているようです。「どうしようか？何をしようか？」と強迫観念を持たず、自分に正直に…

寝てばかり…大いに結構。寝てたいんだもん！「ゴロゴロしてばかり」それも最高！

「何もしないで何が悪い！」人として、しっかり立っていることができているならば NO Problem !

自らの選択と決定によって、堂々と純粋に本当の自分の時間を過ごしましょう。

でももし…まだ自由な時間の過ごし方に慣れていない方がいたら…ゆうゆう館にご来場ください。

昭和チックなレトロ感ある部屋でマッサージ器に座り、ポーっと有意義な時間が過ごせます。

ひょっとしたら、新しい自分発見なんかもできるかもしれません。

「自由な時間が本当の自分の時間」となったとき、きっと「本当の貴方」が完成するのかも？

ゆうゆう館では 日曜祭日にも仕事。「休みがとれない」とわめいている者が

貴方の貴重な自由時間の過ごし方をご支援いたします。 ぜひ!お気軽にご来場ください！